

## 議会運営委員会県外調査をふまえた検討事項について

### 1 取手市の事例の整理

#### (1) インターネット中継への字幕の表示などA Iを活用した文字起こし

##### ①効果

- ・発言の内容が表示されることにより、今、何をしているか、何を議論しているかがわかりやすくなる
- ・会議録のテープ起こしのスピード化

##### ②課題

- ・A Iの文字起こしは誤変換も多々あるため、間違っただ情報が伝わる可能性がある
- ・本県では会議録の音声反訳は業者に委託し、人の手で起こしてもらっている。それと比較するとA I反訳はあっという間にできるが、誤りが多すぎて校正に手間がかかるため、かえって人件費が増大する可能性がある

#### (2) 会議録視覚化システム

##### ①効果

- ・どういった内容が話題になっているのかが一目でわかりやすく表示されているため、それについてどのような議論がされているのか会議録等を見るきっかけになり、県民の議会への関心向上につながる
- ・いつ、どんなことが話題になっていたのか、過去をわかりやすく振り返ることができる

##### ②課題

- ・取手市が使用しているシステムは現在も開発中であり、製品化されていない
- ・会議録検索システムとリンクさせるのは、予算の確保が必要

### 2 取組の方向性の検討

#### (1) 開かれた議会運営の実現

- ・県民の皆さんに、議会を身近にわかりやすく感じていただくことができ、関心の向上につながる取組
- ・A I等技術の発展を取り入れた取組

#### (2) 独自の政策立案と政策提言の強化

- ・議員の側からも過去の議論を振り返り、今後の政策等に生かすことができる取組

### 3 検討の進め方・スケジュール（案）

令和4年	12月	取組の方向性の検討
令和5年	1月～	取組内容案の検討開始
	2月～3月	次期への引継ぎ内容取りまとめ
	5月～10月	取組内容案の検討
	11月頃	※必要であれば当初予算要求
	12月	取組の最終決定
令和6年	5月～	取組開始